

バネ工場のブロック



バネのブロック「スプリック」で作られたカエルやネコやペン立て(写真上)。バネとバネをつなぐジョイント部分を作る五光発條のスタッフ(同下、横浜市瀬谷区)



実際に遊んでみると、バネを組み合わせて立体を表現するのは難しく、作り手のセンスが求められる。ただ、押すと柔らかく曲がるバネの手さわりは良さは新たな発見。工業部品に宿る、精密かつ繊細な感触が伝わってきた。

(阿曾村雄太)

工業系 キットで 精密世界

伸ばして、縮めて、曲げて……。バネ製造の五光発條(横浜市)が開発した金属製のバネをつなげて遊ぶブロック「SPLINK(スプリック)」が話題になっている。従来のブロックでは難しかった曲線や細かい動きを表現できるバネの特性にはまる大人も多い。100を超ええるパーツをつなぐ作業に没頭すれば、ストレス解消にもなりそう。

「テレビを見ながらバネの6種類のバネと、それを曲げたり、伸ばしたりをつなぐT字やL字など、接続パーツで構成。バネは自由に伸ばしたり、曲げたりできるため、曲線を生かした作品を製作できる。」

社長室には7万個以上のバネを製作した。鶴岡さんは「バネが動くため、自由度が高い。金属の質感が現代アートに見える」と自分の作品に満足そう。

五光発條は世界でも珍しいバネ製ブロックを商用品化した。全長8〜32ミリと並ぶ。

自称「レゴマニア」という村井秀敏社長は「バネを使うことで動物などの動きが表現できる」と従

建築模型用ミニ風景

来品との違いを強調する。昨年12月に第1弾の「ネコキット」(840円)、「カエルキット」(1680円)、「ペン立てキット」(1890円)の3商品を自社サイト限定で発売。今後はオリジナル作品を作る100個のパーツを入れた



1枚の紙を切り抜いて作るテラダモケイの「1/100建築模型用添景セット」(東京都渋谷区の東急ハンズ新宿店)

また自社サイト限定の販売のため販売数は少ないものの、こうした一般消費者になじみの薄い素材やテーマの玩具は物珍

「1680円)、「ペン立てキット」(1890円)の3商品を自社サイト限定で発売。今後はオリジナル作品を作る100個のパーツを入れた

「1680円)、「ペン立てキット」(1890円)の3商品を自社サイト限定で発売。今後はオリジナル作品を作る100個のパーツを入れた

「1680円)、「ペン立てキット」(1890円)の3商品を自社サイト限定で発売。今後はオリジナル作品を作る100個のパーツを入れた

大人没頭、ストレス発散

セット品を追加する。五光発條は高い技術力を持ち、カメラ向けバネでシェア6割を握るものの、生産コストの安い海外の工場との価格競争に陥っている。「企業の認知度や製品の付加価値を高めたい」(村井社長)というのがバネ製ブロック開発の動機だ。

2013年2月に試作品の開発に着手。クラウドファンディングを使い資金55万5000円を調達した。出資者から試作品のバネの固さや難易度などの評価や、パッケージのデザインなど様々な支援を受けて商品化にこぎ着けた。

また自社サイト限定の販売のため販売数は少ないものの、こうした一般消費者になじみの薄い素材やテーマの玩具は物珍

「1680円)、「ペン立てキット」(1890円)の3商品を自社サイト限定で発売。今後はオリジナル作品を作る100個のパーツを入れた

(阿曾村雄太)